

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスまはろ 新座市役所前		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 6日		～ R8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 6日		～ R8年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動スペースは広く活動ができる。活動の種類も室内運動やダンスなど、広く使った支援が可能。	スペースを利用して、定期的に室内運動、体感トレーニングなど、なかなか難しい室内においての身体を動かす課題、療育を取り入れるようにしている。	段階的に、活動の内容を強化していき、長期的に発展していく課題も取り入れて変化をだしていきたい。
2	新座市役所前事業所でのベテラン職員が多く、児童の事をよく理解している職員が多い。	関係性が近すぎない距離感を保ち、支援に影響が出ないようにしている。	親身になれる部分と、距離を保つ部分とを職員と利用者の関係性の中から良い関係を築いていく事で療育での成果を加速していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが広く、目が行き届かない時がある。広い事で走り出しに対しての対応など必要な部分がでてくる。	活動内容や、当日に利用数などで、スペースの仕切りをして制限する事も時には必要かと思う。	活動において集中できる適正なスペースなどを、設定してフリースペースを適宜設定する。
2	長い職員が多いのは良い反面、関係性が甘くなりすぎないように意識が必要。	日々の活動の中で、より良い関係を構築していくために、距離感は重要だと考えます。長所であることの反面で短所になる事を意識する。	呼称にも注意をして、活動している。言葉、コミュニケーションの取り方も意識できるように定期的に研修を行っている。
3			